

NEOVE

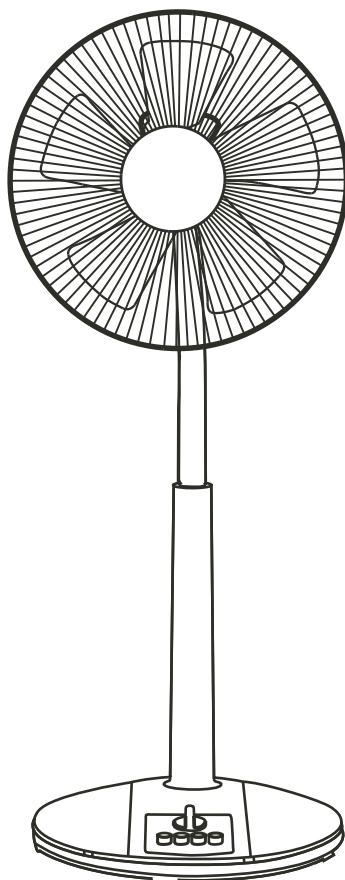
30cmリビング扇風機

型番 FTS30-T12（メカ式）

一般家庭用

取扱説明書

このたびは弊社の扇風機をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に、保管してください。



もくじ

設計上の標準使用期間について	1
安全上のご注意	2～3
セット内容と各部の名称	4
組み立てかた	5～6
使いかた	7
取り外し方法・仕様	8～9
保証規定・保証書	巻末

保証書付

保証書はこの取扱説明書の末尾についています。

● イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

設計上の標準使用期間について

「設計標準使用期間」とは、製造年を始期とし、使用環境、使用条件及び使用頻度について標準的な数値などを基礎に、加速試験、耐久試験などの科学的見地から行われる試験を行って算定された数値に基き、経年劣化による発火・けがなどにより安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期までの期間（年数で表す）です。



〔製造年〕 2012年

※〔設計上の標準使用期間〕 約5年（5000時間）

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがありますのでご注意ください。

注1）設計上の標準使用期間は保障期間ではありません。

注2）設計標準使用期間の明確な定義については、経済産業省から出される省令に規定されます。

注3）本内容は、今後の審議によって変わる可能性があります。

標準使用条件

（社）日本電機工業会自主基準 HD-116-3による

環境条件	電圧	100 V	製品の定格電圧による
	周波数	50 Hz及び／又は60 Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	製品の取扱説明書・据付説明書による
負荷条件		定格負荷（風速）	製品の取扱説明書による
想定時間など	運転時間	8h/日	
	運転回数	5回/日	
	運転日数	110日/年	
	スイッチ操作回数	550回/年	
	首振運転の割合	100%	

注記 表の温度30℃、湿度65％は、JIS C 9601の試験状態を参考としている。

安全上のご注意

ご使用の前に次の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱をすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の二つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

●●● 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容



注意

●●● 誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容

● 図記号の表示例



○記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告

	●改造しないでください。また、修理技術者以外の方は、分解しないでください。 火災・感電・けがの原因となります。 修理はお買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。		●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩んだりするときは使用しないでください。 感電・ショート・発火の原因となります。
	●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差しをしないでください。 感電やけがをすることがあります。		●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
	●水につけたり、水をかけたりしないでください。 ショート・感電の恐れがあります。		●交流100V以外では使用しないでください。 直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因となります。

⚠ 警 告

	●羽根・ガードをつけずに、高さ調整ボタンを押したり、モーターを運転しないでください。 けがをする恐れがあります。		●風を長時間身体に当てないでください。 健康を害する恐れがあります。 特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。
	●定期的に電源プラグの清掃をしてください。 ホコリがたまっていると湿気による絶縁不良などを起こし、火災の原因となります。		●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず必ず、先端の電源プラグを持って引き抜いてください。 感電やショートして発火することがあります。

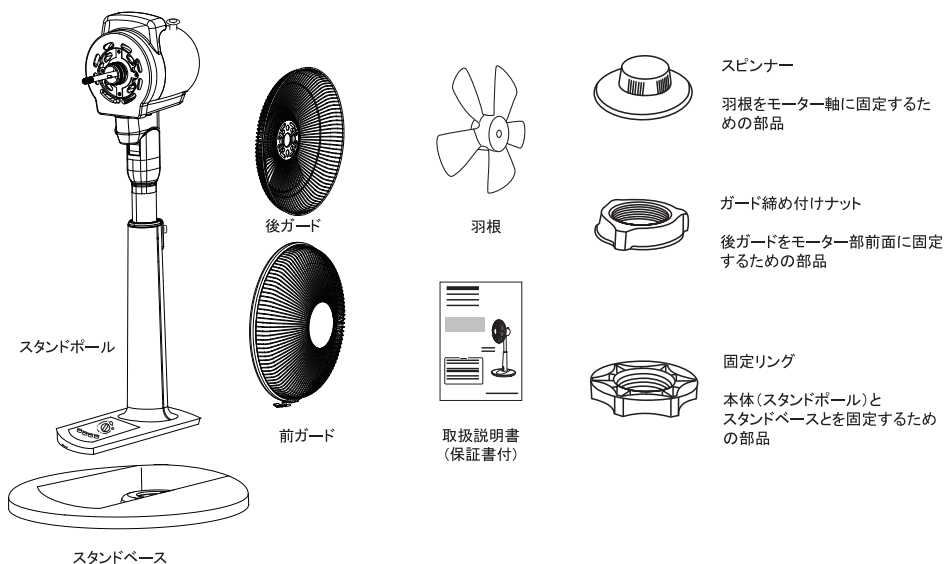
⚠ 注 意

	●使用時間以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。 けがや火傷、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。		●羽根に貼ってある注意シールは絶対に剥がさないでください。 羽根のバランスをとるために貼ってありますので、剥がれてしまうと羽根のバランスが悪くなり、送風時の風切り音が大きくなったり、振動が増えてしまうことがあります。
	●次のようなところでは、ご使用にならないでください。感電・火災の恐れがあります。 「ガスレンジ等の炎のあるところ、引火性のガスがあるところ、雨やしぶきのかかるところ、ホコリや金属粉の多いところ」		●不安定な場所や、カーテンなどの障害物の近くでは使用しないでください。 不安定な場所や首振りをさまたげる障害物があると転倒したり、羽根がカーテンなどを吸い込んだりして、破損や事故の原因となります。
	●スプレー(殺虫剤、整髪料)をかけないでください。 樹脂や塗装部分に変質したり、破損する恐れがあります。		●操作ボタンを押す際にはボタンの中心部を押してください。 操作ボタンは強く押したり、操作部に乗ったりしないでください。 故障の原因になります。
	●高さの調整時や風向きを変えるときなど各部のすき間に手や指を挟まないようにご注意ください。		●本体にタオル等をかぶせて使用しないでください。
	●ガードの中や可動部へ指をいれないでください。 けがをする恐れがあります。		

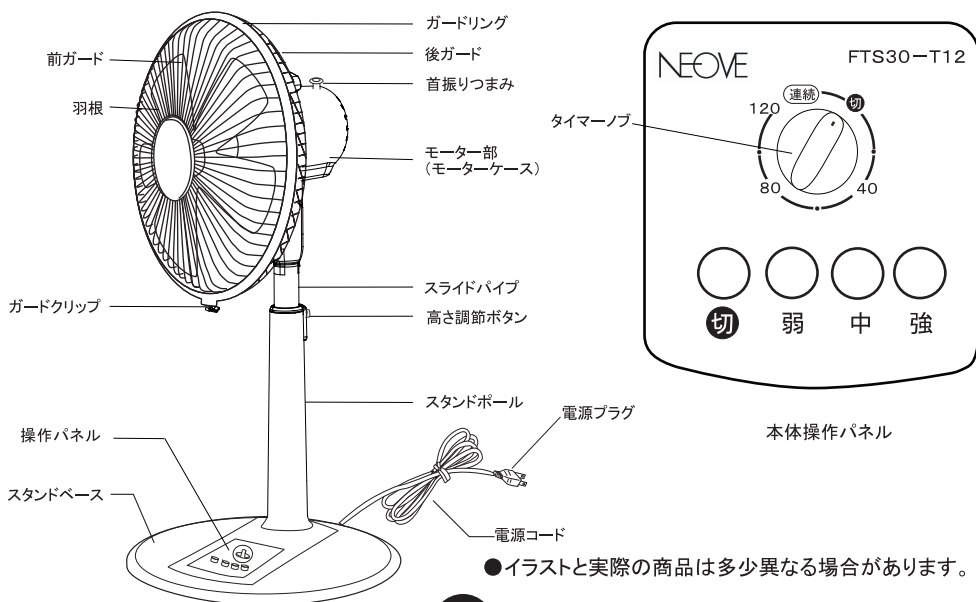
セット内容と各部の名称

セット内容

【組み立て前にセット内容をお確かめください。】



各部の名称



●イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

組立てかた

⚠ 警告

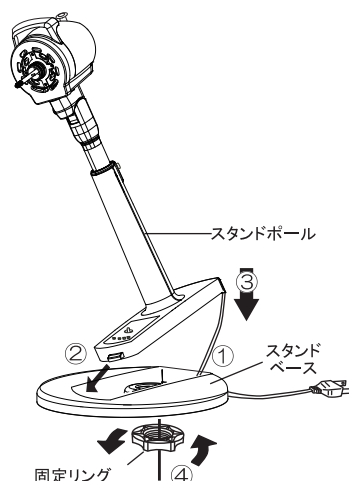
- ガードや羽根をはずしたまま高さ調節ボタンを押さないでください。モーター部分が飛び出して危険です

⚠ 注意

- 組み立てる前に電源プラグを差し込まないでください。
- 組み立て前や組み立て中に高さ調節ボタンを押さないでください。モーター部分が飛び出して、けがをする恐れがあります。

1 スタンドベースとスタンドポールを組み立てます。

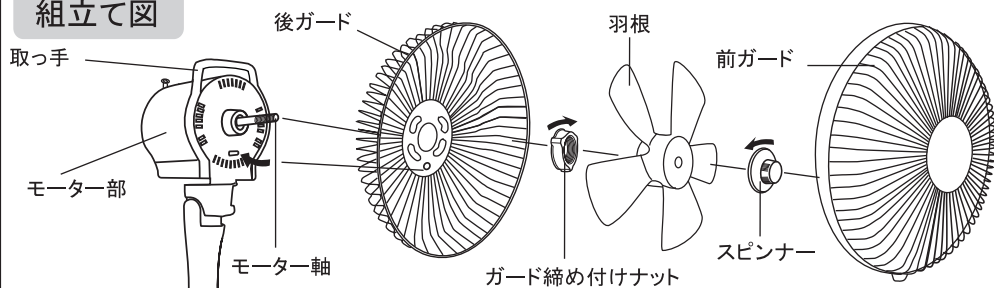
- ① 電源コードをスタンドベースの穴へ通してください。
- ② 平らな安定した場所に置いたスタンドベースの前部の穴に、スタンドポールの前部を差し込みます。
- ③ スタンドポールを押し込み、スタンドベースに確実にはめ込んでください。
- ④ 固定リングを「時計回り」方向に回して締め付け、スタンドポール底部に確実に固定してください。



ご注意

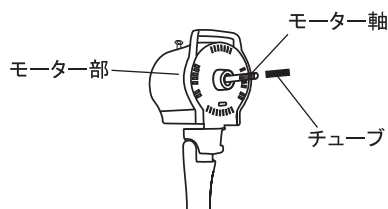
- ⚠ スタンドポールをスタンドベースに差し込むときは、高さ調節ボタンを押さないようにご注意ください。
- ⚠ 指や手を挟まぬようご注意ください。

組立て図



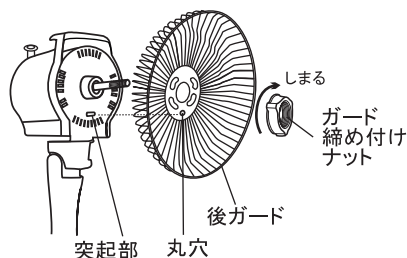
2 モーター軸のチューブを外します。

- チューブは扇風機を保管するときにモーター軸の保護に再使用します。捨てずに保管しておいてください。



3 後ガードを取り付けます。

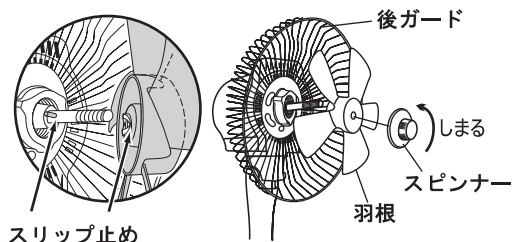
- モーターカバーの突起部と後ガードの丸穴を合わせてはめ込みます。
ガード締め付けナットを「時計回り」の方向へ回し、後ガードをモーターカバーに確実に固定できるまで締め付けます。



注意 ガードと羽根が組み立てられていない状態では、モーター部はパネの力で上方を向き不安定な状態となります。手や指を挟んだり、ケガなどしないようにご注意ください。

4 羽根を取り付けます。

- 羽根のスリップ止めの溝とモーター軸にあるスリップ止めのピンが合うようにして羽根を差し込んでください。
スピナーを「反時計回り」方向へ回し、羽根を確実に固定できるまでしっかり締付けてください。

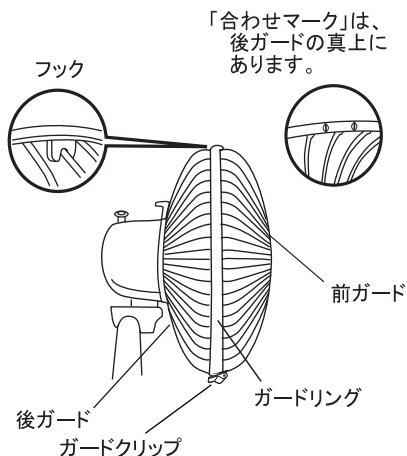


5 前ガードを取り付けます。

- 前ガードのフックを後ガードのマークに合わせて掛け、前ガードを押さえて後ガードの全周をガードリングに確実ににはめ込んでください。
前ガードと後ガードを挟み込むようにガードクリップを確実に止めてください。

前ガードを外すときは

- ガードクリップを外し、ガードリングの真下を手前に引き、前ガードを外してください。
- ガードはその役割上、外れにくいよう設計されていますので、取り付けや取り外しの際にはやや力強く行って下さい。



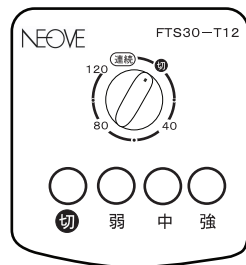
使いかた

操作ボタンの使いかた

操作パネルはタイマーと電源「切」スイッチ、3段階風力調節スイッチの三つの部分で構成されています。

1. 電源「切」・風量調整スイッチ

風量調整スイッチの「弱・中・強」はそれぞれ「弱風、中風、強風」を表します。いずれかのスイッチを押すことで稼働します。
お好みの風量を設定してください。
稼働停止させたい場合には「切」を押してください。



本体操作パネル

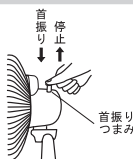
2. タイマー設定

「連続- 切 - 40 - 80 - 120」の表示がタイマーノブの周囲に示されています。タイマーノブが「連続」の位置にあるとき電源を入ると連続稼働します。「切」の位置にあるときは風量調整スイッチを押しても稼働しません。
タイマー設定は「切」と「120」(約120分)間の位置にノブを回してください。(スイッチの入った状態でタイマーを合わせてください。電源が入っていない状態ではタイマーをセットしても稼働しません。)
タイマーが動き、「切」の位置に戻ったときに稼働を停止します。

風向きの変え方

●首振りつまみの使い方

モーター部後方上部の首振りつまみを押すと左右に首振りを開始します。首振りスイッチを上方向に引くと首振りを停止します。



⚠ 注意

● 首振り運転中に無理やりガードを動かしたり、固定させたり、首振りを妨げたりしないでください。

●風向きを左右に変えたいとき

モーターケースを持って左右に変えます。

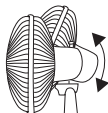


⚠ 注意

● 持ち運ぶときは高さを一番低い位置にしてモーター部の取っ手を持って運んでください。その際、ガードの中に指が入らぬよう充分気をつけてください。

●風向きを上下に変えたいとき

モーターケースを持って上下に変えます。



高さ調節ボタンの使いかた

●高さ調節ボタンを押しながら、パイプを上または下にスライドし、お好みの高さに調節してください。

●持ち運ぶ場合には、パイプを一番下に押し下げて固定してください。



⚠ 警告

●羽根・ガードをつけずに高さ調節ボタンを押したり、モーターを運転しないでください。モーター部が飛び出して、けがををする恐れがあります。

●高さの調整時や風向きを変えるときなど各部のすき間に手や指を挟まらないようにご注意ください。

取り外し方法とお手入れ方法



警告



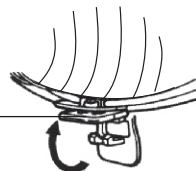
電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
感電やけがの原因になります。

取り外し方法

1 電源プラグをコンセントから抜き、高さの調整を一番低い位置に固定してください。

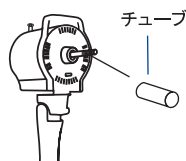
2 前ガードクリップを後ガードから外し、
後ガードから前ガードを取り外します。

前ガードクリップを引っ張って、後ガードから前ガードを外します。



3 組立方図(5～6ページ)と逆の順序で羽・後カードを外す。

4 羽を外した後、締め付けナット、チューブ、スピナーの順で、
再びモーターシャフトにはめます。

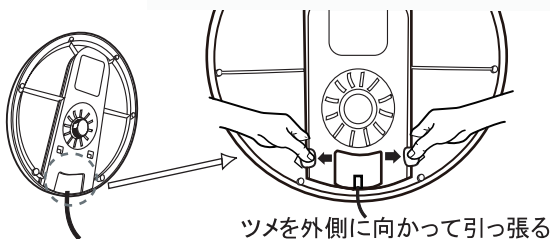


チューブ

ガード締め
付けナット

スピナー

5 取り付けと逆の手順で、固定リングを外し、ベースは図のように
両手でツメを矢印方向で引っ張って、ベースを持ち上げてください。



ツメを外側に向かって引っ張る

お手入れ方法

- モーター軸の汚れを拭き取ってください。
- 本体や羽根についた油はよく拭き取ってください。樹脂が変色したり、破損する恐れがあります。
- ガソリン、シンナー、ベンジン、アルカリ性洗剤、灯油、ベンゾール、アルコール、みがき粉などで拭かないでください。また、殺虫剤などをかけないでください。樹脂や塗装部分が変色、変質する恐れがあります。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはがれたりすることがありますのでご注意ください。
- お手入れの後にポリ袋に入れ、湿気が少ないところに保管してください。

長年ご使用の扇風機はよく点検を

長年ご使用の扇風機はよく点検をお願いします。

愛情点検



こんな症状は
ありませんか



★スイッチを入れても
ファンが回らない。



★ファンが回っても異
常に回転が遅か
ったり不規則。



★回転するときに異
常な音をする。



★モーター部分が異常に
熱かったりコゲくさい
においがする。



異常があれば
ご使用中止!!
発煙・発火の恐れが あ
ります。
すぐに電源プラグを抜
いてください。弊社サー
ビスセンターにご連絡く
ださい。

修理を依頼される前に

異常が生じたときは、次の点をお調べになってからお買い上げの販売店または当社のアフターサービスセンターにご相談してください。

こんなとき

おたしかめください

風量調節ボタンを押しても羽根
が回らない。

- 電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか?
- 羽根とガードが当たっていませんか?

羽根は回るが異常音をする。

- 羽根は確実に取り付けられていますか?
- ガードは確実に取り付けられていますか?
- 羽根とガードが当たっていませんか?

●仕 様

定格電圧 (V)	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	回転数 (r/min)	風速 (m/min)	風量 (m ³ /min)	首振り角度 (度)	電源コード長 (m)	質 量 (kg)
100	50	36	1080	165	32	75°	1.5	2.8
	60	40	1040	155	30			

●この製品は、日本国内のみ使用できます。 FOR USE IN JAPAN ONLY.